

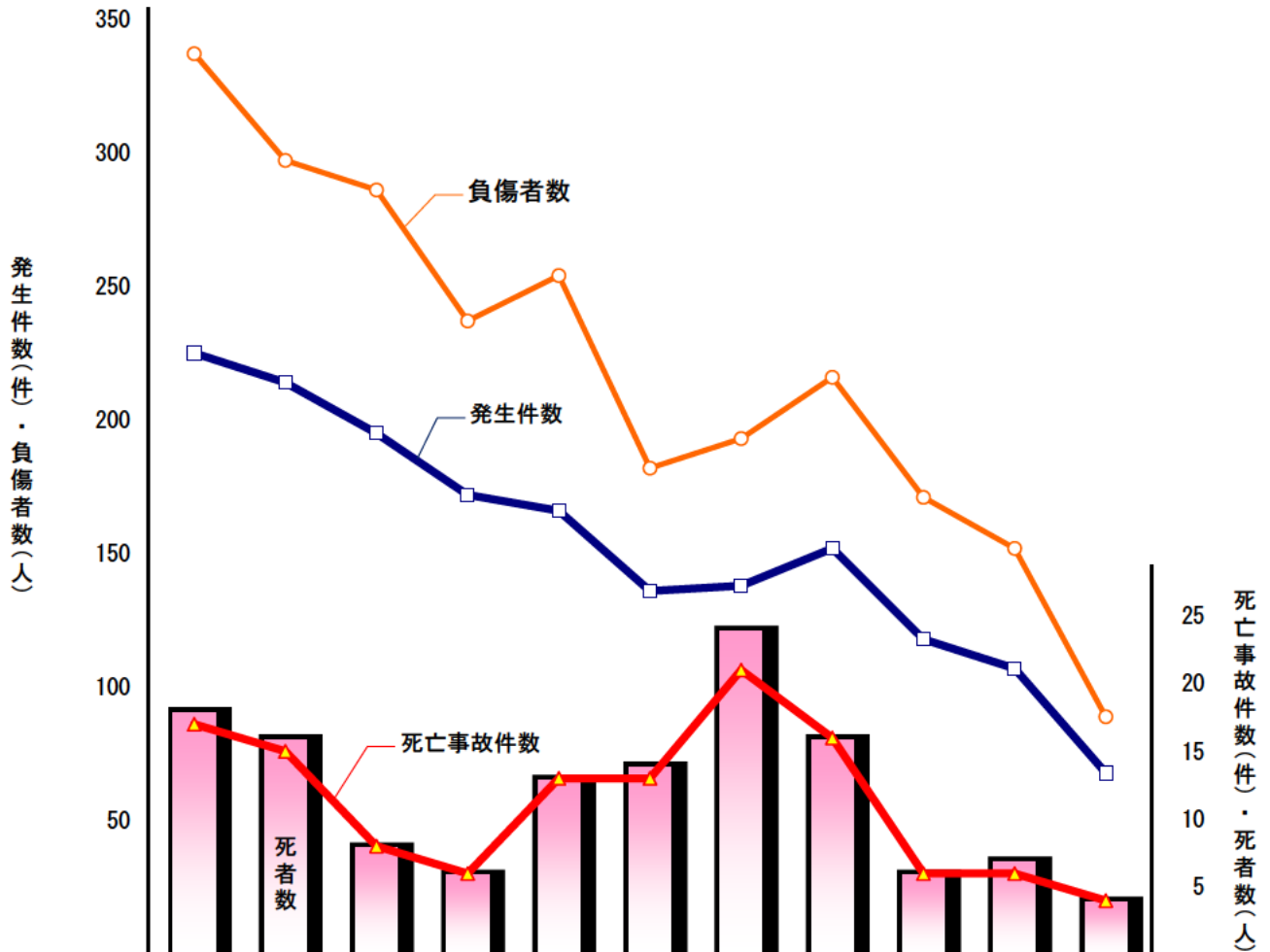
# 第3

## 飲酒運転による交通事故

### 1 推移(平成22年～令和2年)

発生件数は減少推移、令和2年は統計資料の残る昭和42年以降で最少となりました。

死者数は増減を繰り返して推移、令和2年は減少し、統計資料の残る昭和36年以降で最少となりました。  
令和2年の死者数全国順位は、ワースト第12位でした。



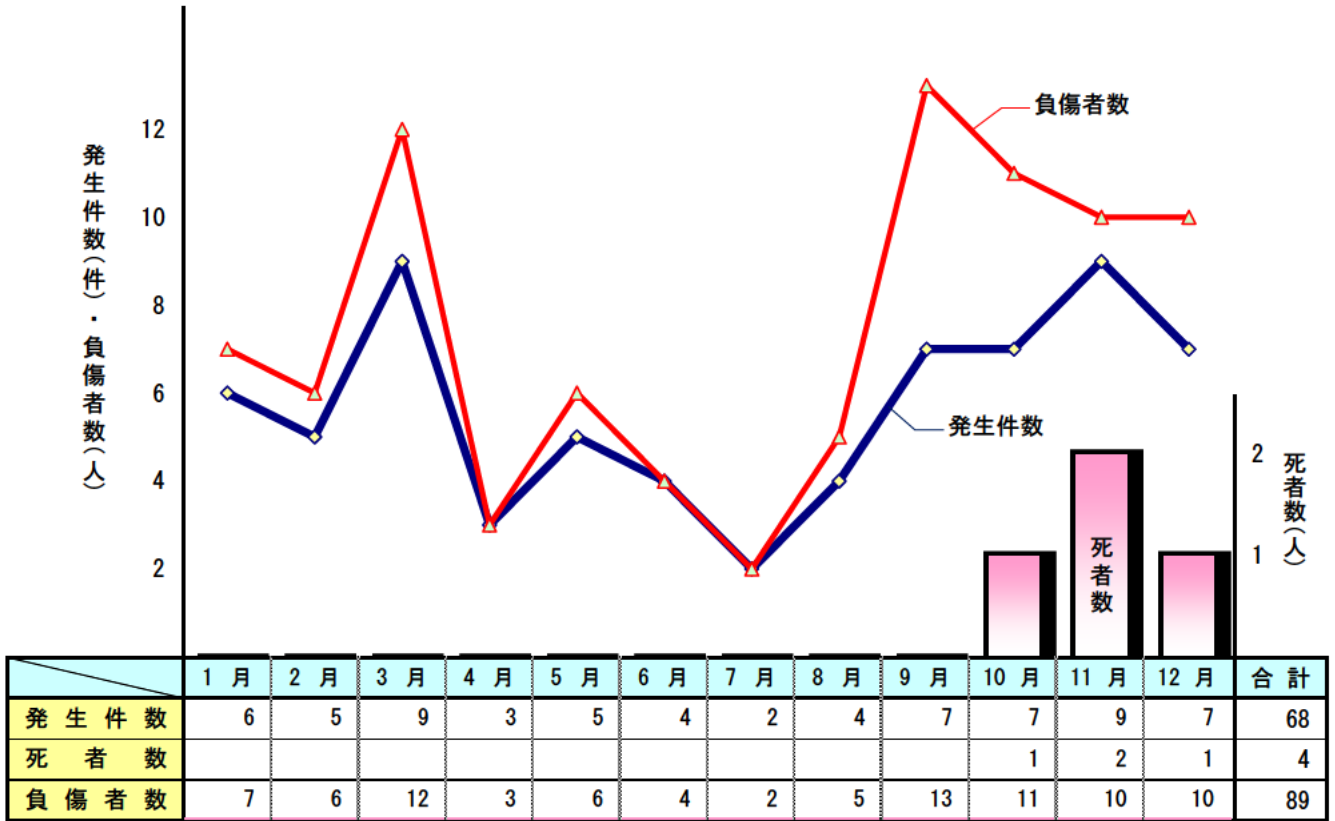
	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年
発生件数	225	214	195	172	166	136	138	152	118	107	68
構成率	1.4	1.4	1.3	1.3	1.3	1.2	1.3	1.6	1.4	1.4	1.1
死亡事故件数	17	15	8	6	13	13	21	16	6	6	4
構成率	8.6	9.1	5.8	3.7	10.1	9.6	14.4	11.4	4.9	5.7	4.8
死者数	18	16	8	6	13	14	24	16	6	7	4
構成率	8.8	9.5	5.6	3.7	9.8	10.0	16.0	11.2	4.9	6.5	4.8
負傷者数	337	297	286	237	254	182	193	216	171	152	89
構成率	1.6	1.5	1.5	1.4	1.5	1.2	1.4	1.7	1.6	1.6	1.2
死者数ワースト順位	2位	3位	13位	13位	3位	2位	1位	1位	8位	6位	12位

※1 「発生件数」は、身体に酒気を帯びた状態で原付以上の車両を運転していた者が、第1当事者となった交通事故の件数で、「死亡事故件数」は内数である。  
 ※2 「死(負傷)者数」は、前記交通事故による全ての死(負傷)者数をいい、飲酒運転者本人の死傷を含む。  
 ※3 「構成率」は、全交通事故(発生件数、死亡事故件数、死者数、負傷者数)に占める割合である。  
 ※4 飲酒運転の罰則強化等を含む改正道交法施行は、平成14年6月、平成19年9月、平成21年6月の計3回である。  
 ※5 飲酒運転による死者数の全国ワースト第1位は、過去8回(平成3年、5年、7年、9年、10年、11年、28年、29年)で、都道府県別の統計資料は、平成2年以降現存している。

## 2 月 別

発生件数は「3月」・「11月」が最も多く、次いで「9月」・「10月」・「12月」の順となっています。

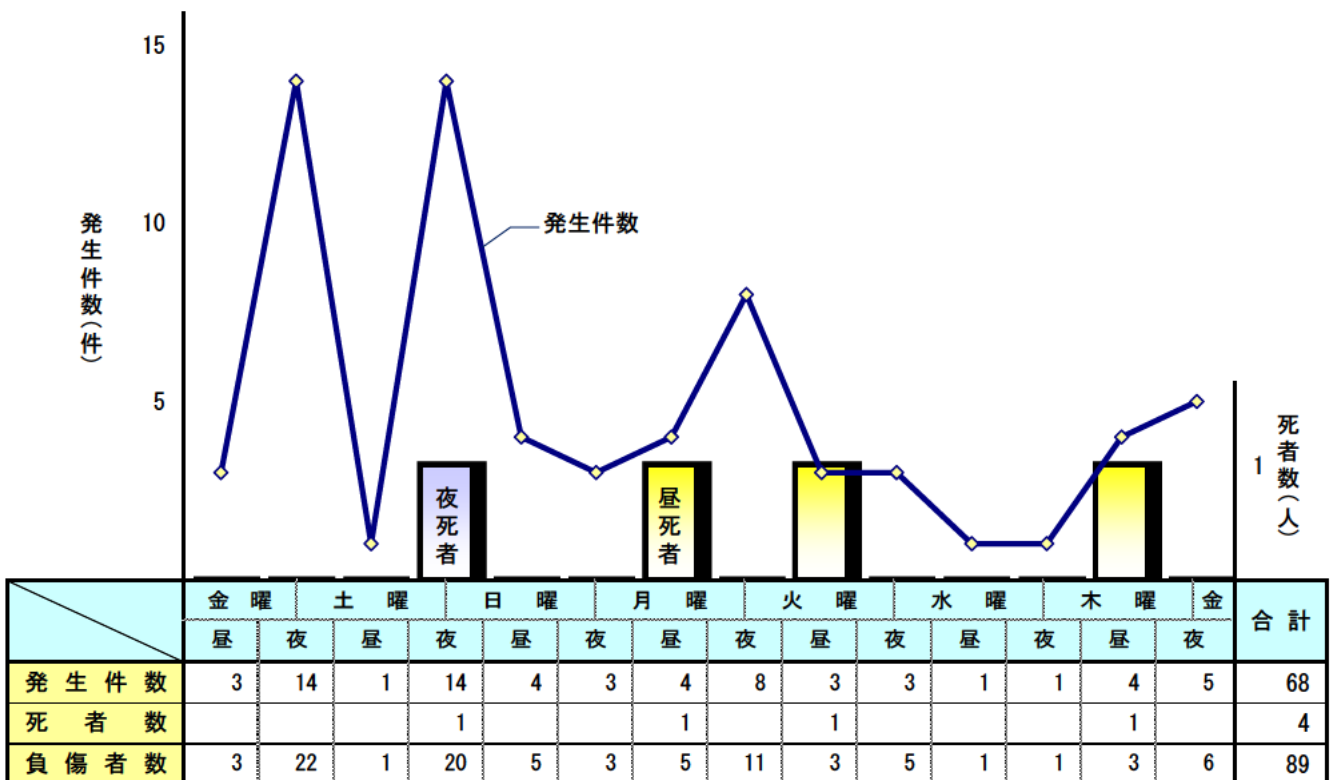
死者数は「11月」(2人)が最も多く、「10月」・「12月」が各1人となっています。



## 3 曜日・昼夜別

発生件数は「金曜から土曜にかけての夜」・「土曜から日曜にかけての夜」が最も多くなっています。

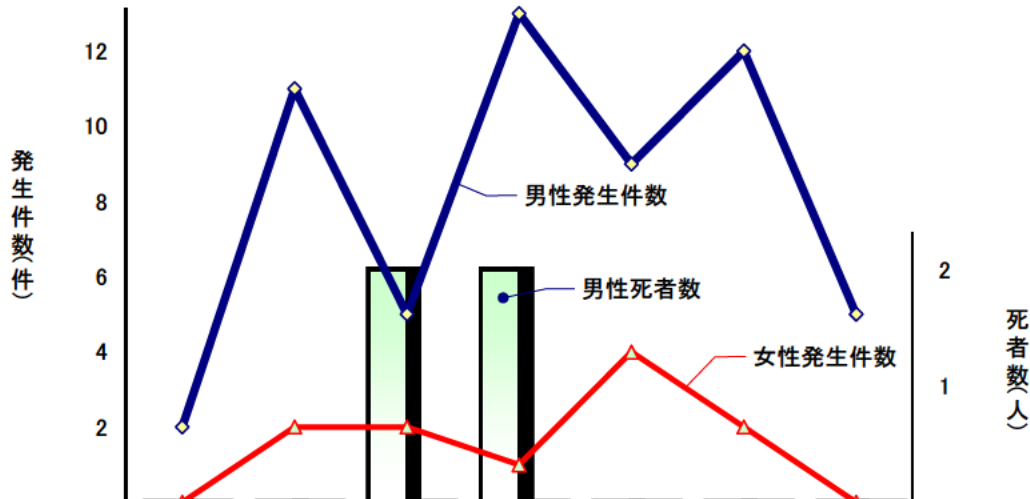
死者数は「土曜から日曜にかけての夜」・「月曜の昼」・「火曜の昼」・「木曜の昼」が各1人となっています。



※ 昼夜の区分は、日の出、日没時刻を基準とした。

#### 4 男女・年齢層別

発生件数は「40歳代」・「60歳代」が最も多く、死者数では「30歳代」・「40歳代」が各2人となっています。男女別発生件数では、男性は「40歳代」、女性は「50歳代」が最も多くなっています。

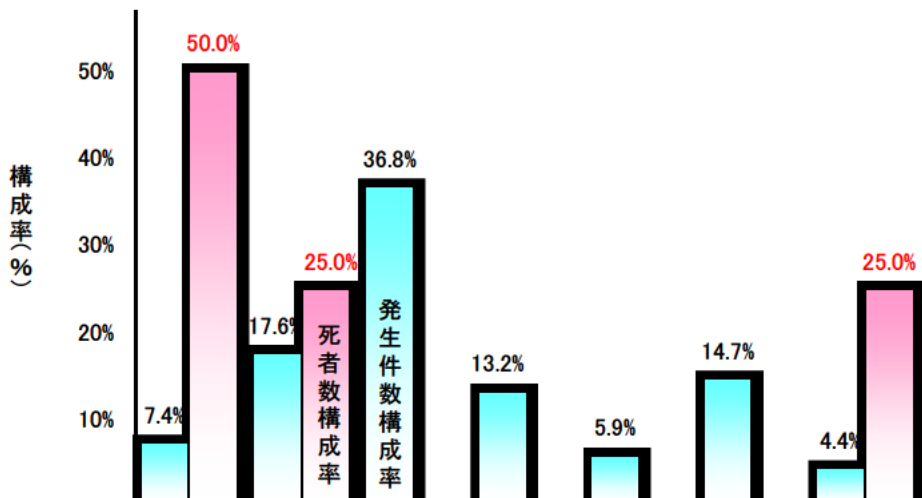


		20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	内数		合計
									青少年	高齢者	
発生件数	男	2	11	5	13	9	12	5	11	7	57
	女		2	2	1	4	2		2	2	11
合計		2	13	7	14	13	14	5	13	9	68
死者数	男			2	2						4
	女										
合計				2	2						4

※「青少年」は16～24歳、「高齢者」は65歳以上で、内数である。

#### 5 事故類型別

発生件数は「車両相互-追突」(25件、36.8%)が最も多く、次いで「車両相互-正面衝突」の順となっています。死者数は「人対車両」(2人、50.0%)が最も多く、「車両相互-正面衝突」・「車両単独-工作物」が各1人となっています。



	人対車両	車両相互					車両単独		列車	合計
		正面衝突	追突	出会い頭	右折時	その他	工作物	その他		
発生件数	5	12	25	9	4	10	3		68	
死者数	2	1					1		4	
負傷者数	3	18	31	14	5	15	3		89	

※ このグラフは「発生件数」及び「死者数」の構成率比較である。

6 市町村・警察署別

市町村別の発生件数は「水戸市」(8件)が最も多く、次いで「土浦市」(6件)の順、死者数では「水戸市」・「茨城町」・「取手市」・「高速道路」が各1人となっています。

警察署別の発生件数は「水戸警察署」(10件)が最も多く、次いで「土浦警察署」(6件)の順、死者数では「水戸警察署」(2人)が最も多くなっています。

○ 市町村別発生状況

	発生件数		死者数		負傷者数	
	順		順		順	
水戸市	1	8	1	1	1	11
茨城町	18	1	1	1	21	1
大洗町	18	1			9	3
笠間市	9	2			14	2
城里町	18	1			21	1
ひたちなか市	9	2			14	2
東海村						
那珂市	9	2			14	2
常陸大宮市	9	2			9	3
常陸太田市						
大子町						
日立市	5	4			5	5
高萩市						
北茨城市	18	1			21	1
鉾田市						
鹿嶋市						
神栖市	3	5			3	7
行方市	18	1			21	1
潮来市	18	1			14	2
龍ヶ崎市	9	2			9	3
河内町						
牛久市						
阿見町	9	2			14	2
稲敷市	18	1			21	1
美浦村						
土浦市	2	6			2	9
かすみがうら市						
石岡市	5	4			8	4
小美玉市	18	1			21	1
つくば市	3	5			5	5
筑西市	18	1			14	2
下妻市						
八千代町						
桜川市						
結城市	9	2			9	3
常総市	18	1			21	1
つくばみらい市						
古河市	7	3			5	5
境町	18	1			21	1
坂東市	9	2			4	6
五霞町						
取手市	7	3	1	1	9	3
守谷市	9	2			14	2
利根町						
高速道路	18	1	1	1		
合計		68		4		89

※ 表内順位は多い順とした。

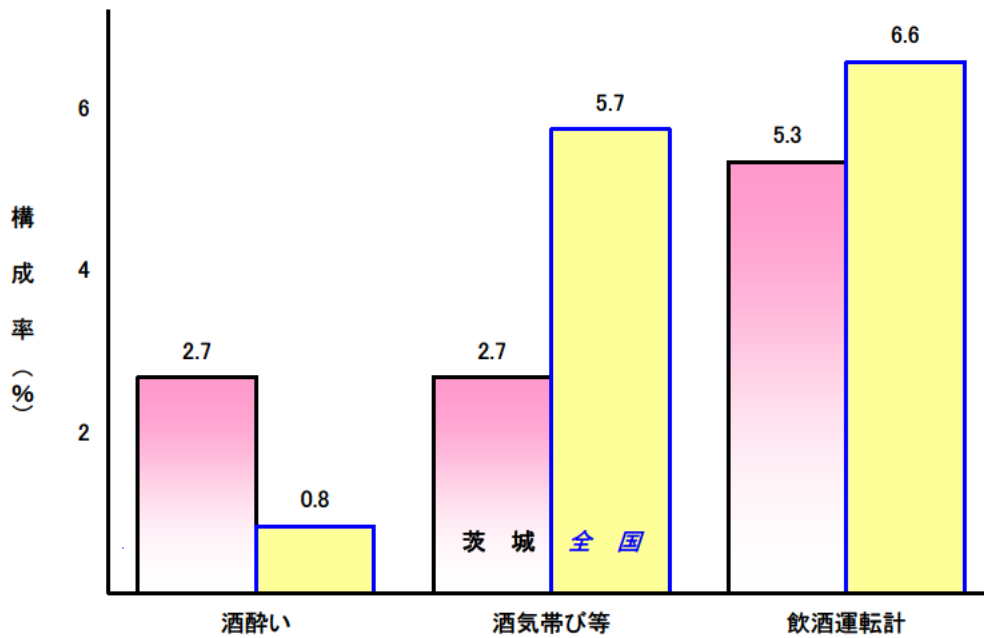
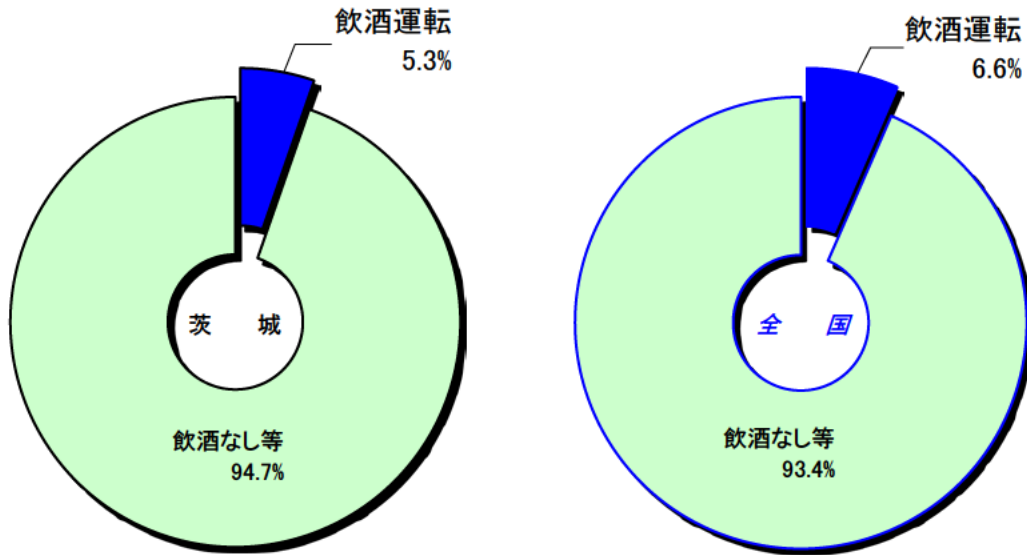
○ 警察署別発生状況

	発生件数		死者数		負傷者数	
	順		順		順	
水戸	1	10	1	2	1	15
笠間	8	3			10	3
ひたちなか	11	2			15	2
那珂	11	2			15	2
大宮	11	2			10	3
太田						
大子						
日立	7	4			5	5
高萩	18	1			19	1
鉾田						
鹿嶋						
神栖	3	5			3	7
行方	11	2			10	3
竜ヶ崎	11	2			10	3
牛久	11	2			15	2
稲敷	18	1			19	1
土浦	2	6			2	9
石岡	3	5			5	5
つくば	3	5			5	5
筑西	18	1			15	2
下妻						
桜川						
結城	11	2			10	3
常総	18	1			19	1
古河	8	3			5	5
境	8	3			3	7
取手	3	5	2	1	5	5
高速隊	18	1	2	1		
合計		68		4		89

※ 市町村及び警察署管轄区域とも令和2年12月31日現在とした。

### 7 全国との比較(死亡事故件数)

原付以上の運転者が第1当事者となった、全死亡事故に占める飲酒運転の割合(構成率)を全国と比較すると、1.3ポイント低くなっています。



	原付以上の第1当運転者				合計
	飲酒運転		小計	飲酒なし等	
	酒酔い	酒気帯び等			
茨城	2	2	4	71	75
構成率	2.7	2.7	5.3	94.7	100.0
全国	20	138	158	2,250	2,408
構成率	0.8	5.7	6.6	93.4	100.0

- ※1 対象は、原付以上の運転者が第1当事者となった死亡事故件数である。
- 2 「酒酔い」とは、アルコールの影響により正常な運転ができないおそれがある状態をいう。
- 3 「酒気帯び等」とは、身体に酒気を帯びた状態で「酒酔い」に至らないものをいう。
- 4 「飲酒なし等」には、「調査不能」を含む。